

わかまらづくり交付金 交付団体決定



地域や団体の方々の自由な発想で取り組むまちづくりを応援する「岩美町わかまらづくり交付金」の交付認定団体が決定しました。

設立して今年度で6年目、その間多くの熱意ある皆様から申請をいただき10団体の活動をお手伝いさせていただきました。

今年度は6月9日(火)、一般公開で60人あまりの人々の聞き入る中、5団体が審査会に望み、それぞれの地域の特徴を生

かした創造性あるまちづくり構想を10分間のプレゼンテーションで熱く語りました。

賀露おやじの会藤田充理事長、山陰合同銀行鳥取営業部石川茂夫部長、鳥取県東部総合事務所県民局岡村通孝県民課長の3名の審査員による厳正な審査の結果3団体が交付団体に選ばれました。

まちづくりの原動力は町民のみなさんです。
新たなまちづくりに期待しています!!



事業名【団体名】	事業の内容
「一寸法師」音楽ひろば事業 【「一寸法師」音楽ひろば実行委員会 代表 美作直子】	音楽活動や郷土芸能(和太鼓演奏)を通して世代間・町内外と交流の輪を広げ、音楽家田村虎蔵生誕の地“ふるさと蒲生は音楽のまち”を目指す。
心をつなぐ「くがみ新聞」づくり事業 【陸上自治会 会長 小山勝之進】	取材や編集活動を通して、地域の人々の素顔や身近な行事・地元の歴史・文化を掘り起こし、地域みんなの“心をつなぐ新聞づくり”を目指す。
祭り囃子の聞こえる街づくり 【いわみ千貫灯振興会 会長 山本千加穂】	多くの地域から集まりできた駅前生まれ育った青少年にとってはこの町が「ふるさと」。幾世代も護っていく祭りに“千貫灯”を取り入れ地域の新しい祭り創りに挑戦。祭りを通して世代を越えた「ふるさと」の繋がりを深める。